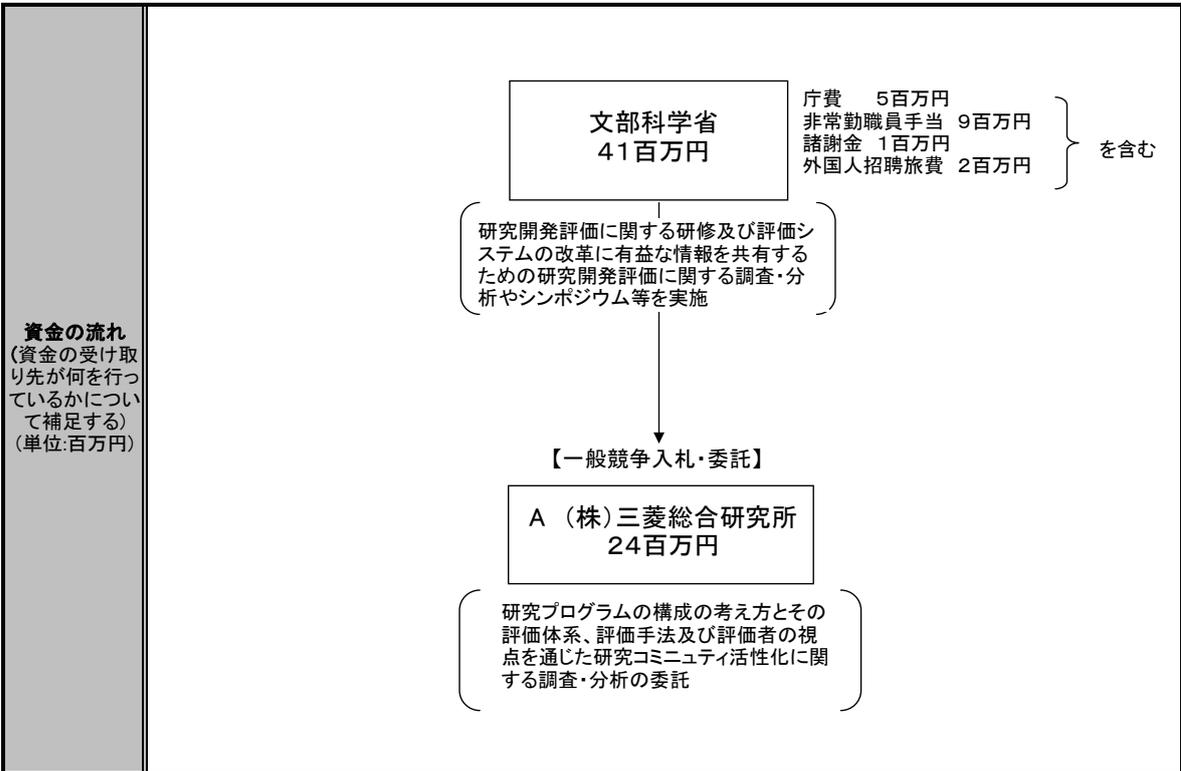


行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	専門的知見に基づく研究開発評価環境の整備	事業開始年度	平成15年度	作成責任者		
担当部局	科学技術・学術政策局	担当課室	計画官付評価推進室	評価推進室長 苫米地 令		
会計区分	一般会計	上位政策	科学技術システム改革の先導			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画 (H18.3 閣議決定) 国の研究開発評価に関する大綱的指針 (H20.10 内閣総理大臣決定)			他
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第3期科学技術基本計画において、「世界水準で信頼できる評価となるよう、評価の実施に当たって、評価対象や評価時期、評価目的等に応じて適切な調査・分析及び評価法を選択すること、評価手法の開発・改良に努めること、若手を含む評価人材の育成や評価能力の向上を図ること等に努める。」との研究開発評価システム改革の方向性が示されており、その具現化を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文部科学省、他省庁、研究開発機関及び大学の職員や研究者を対象に、国内外の有識者による研究開発評価に関する研修及び評価システム改革に有益な情報を共有するための研究開発評価事例研究会を実施。また、研究開発の特性に応じた評価方法のあり方の調査・分析を実施。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発評価研修等を計6回実施(うち1回は、海外から有識者を招へいし、実施)し、延べ269人が受講した。</li> <li>研究開発評価事例研究会を実施し、124人が参加した。</li> <li>「研究プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法及び評価者の視点を通じた研究コミュニティ活性化に関する調査・分析」を実施した。</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	53	52	50	36	—
	執行額	44	46	41		
	執行率	82.7%	88.6%	81.9%		
	総事業費(執行ベース)	44	46	41		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	書面調査及び現地調査により額の確定行為を実施し、委託先における用途を適切に把握している。また、委託事業の一環として設置された委託先の委員会に文部科学省職員がオブザーバーとして出席し、事業の進捗状況の把握に努めている。				
	見直しの余地	これまでの委託事業の成果を踏まえつつ、研究開発評価システムの改革を更に促進するため、研究評価に関する施策や事業を効果的かつ体系的に企画・実施するためのより良い方法について検討を行う。				
予算監視・効率化の所見	<ol style="list-style-type: none"> <li>事業評価の観点:この事業は、研究開発の特性に応じた評価方法のあり方の調査・分析等を行う調査研究事業であり、長期継続事業にあたる。</li> <li>所見:長期継続の調査研究事業であり、研究開発の評価に関する事業は本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、特に調査の外部委託に係る積算を見直し、予算を縮減すべきである。</li> </ol>					
補記						



**費目・用途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A (株)三菱総合研究所					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員にかかる人件費	15			
業務実施費	消耗品費、国内旅費、外国旅費、諸謝金、通信運搬費、雑役務費	5			
その他	一般管理費	3			
計		24 <small>(四捨五入の関係で合計額が一致しない)</small>	計		0